

# き ぼ う

青少年育成広報

第 33 号  
 発行人  
 青少年育成那珂市民会議  
 会長 関 守



奥久慈憩いの森 (R 3. 8. 3)

ふるさと教室「竹とんぼ作り」

### 夢に向かって今できること

緑桜学園 那珂市立芳野小学校 六年 丹治 千愛

私は、四年生のころから将来「トリマー」になるという夢があります。この夢をもったきっかけは、祖母が犬の毛をとかしたり、切ったりするところを見て興味をもったからです。自分の夢に向かって何ができるか考えました。しかし、今は新型コロナウイルスが流行していて、ペットショップや本屋などには行きづらいので、インターネットを中心に調べています。中学校の職場体験学習までには、トリマーについてくわしくなっていたいです。また、祖母の身の回りのお世話をを行うなど動物や周りの人に優しく接していきたいです。

### 世界一の経営者になりたい

緑桜学園 那珂市立木崎小学校 六年 田口 琥太郎

僕には夢があります。それは会社を設立することです。今の時代はIT分野が日々進化しています。僕はIT系の会社の経営者になり、時代の進化に負けないような開発をして、人の役に立つものを作りたいです。そして、世界を変えるような活やくをして、世界一の経営者になりたいです。

### 会うことの大切さ

緑桜学園 那珂市立木崎小学校 六年 根本 結多

僕がリモート学習をして感じたことは、直接会えないことの悲しさです。リモートでつながると休校とは違い、みんなと学習することができませんが、ゆつくりと話すことができます。今は、みんなと直接会うことができているので、一緒に勉強できることを大切に生活していきたいと思っています。

### 青少年健全育成のまち宣言

- 1 市民の英知を結集し、みんなで積極的に青少年を育成しよう。
- 2 よい環境をつくり、心豊かでたくましい青少年を育成しよう。
- 3 自立の心を養い、連帯性や社会性に富む青少年を育成しよう。

『指導力と影響力』



青少年育成那珂市民会議  
会長 関 守

ソニーの創業者である井深大さんは、かつて社長時代、最新鋭の設備を備えた厚木工場を完成させ、世界中から見学者が来ることになりました。しかし一番の問題が、トイレの落書きでした。会社の恥だからと工場長にやめさせるように指示して、工場長も徹底して通知しましたが、一向になくなりません。

ところが、しばらくして工場長から「落書きがなくなりました」と連絡がありました。「どうしたんだ」と尋ねると、「実は、パートのトイレ掃除のおばさんが、数枚のかまぼこの板に、ここは、私の神聖な職場です。落書きをしないでください。」と書いて、トイレに張り、それで、ピタッとなくなりました。」と言いました。井深社長も工場長もリーダーシップを取れなかったのです。以来、井深さんは、リーダーシップ(指導力)を影響力と呼ぶことにしました。

リーダーシップは、上から下への指導力が基本ですが、けれども、それは、自分を中心として上司、部下、同僚など常に上下左右なんです。だから、上司を動かさない人に部下を動かす事はできません。上司を動かせる人であって、初めて、部下を動かすことができます。市民一人一人の自覚と責任で、人を動かす影響力を持つてはありませんか。

副会長です  
宜しく願います



那珂市子ども会育成連合会会長  
滝本 京子



那珂市PTA連絡協議会会長  
渡邊 ひとみ



那珂市青少年相談員連絡協議会会長  
森島 栄子



那珂市連合民生委員児童委員協議会会長  
大和田 優

令和3年度 事業計画(予定)

月	主な事業(実施場所)
5	第1回企画委員会
6	第17回「親子の集い」(水戸市少年自然の家) 総会(らぼーる)【書面議決】・第1回合同専門部会【中止】
7	「青少年の非行・被害防止全国強調月間」 第1回広報部会 第1回育成部会
8	第1回家庭部会【中止】 第2回企画委員会【中止】
9	第2回広報部会【中止】
10	「青少年の主張」発表大会並びに表彰式典(らぼーる) 第3回広報部会【中止】 「親が変われば、子どもも変わる」運動那珂市推進大会(らぼーる) 青少年育成広報「きぼう」第33号の発行
11	市民会議による「あいさつ・声かけ運動」(各地域) 那珂市子ども会親睦競技大会(那珂総合公園)【中止】
12	「家庭の日」図画・作文発表会並びに表彰式典(らぼーる) 「家庭の日」図画作品展示会 第2回家庭部会
1	第2回育成部会 第4回広報部会 第3回企画委員会
2	第5回広報部会 善行青少年表彰 ※那珂市教育表彰及び小中一貫教育発表会において
3	第4回企画委員会 青少年育成広報「きぼう」第34号の発行

※新型コロナウイルスの影響により中止になる事業があります。

令和3年度 青少年育成那珂市民会議  
基本方針と重点目標

基本方針

未来を担う青少年が、心身共に健やかでたくましく、自主性・社会性に富んだ人間に育つことは、地域住民の願いである。しかしながら、家庭や地域の教育力の低下や、大人の規範意識の低下、情報化社会の進展などにより人間関係の希薄化が進み、青少年をとりまく状況はいまだ厳しいものがある。青少年育成那珂市民会議では、これらの状況を踏まえ、青少年の健全育成のために取り組んでいく。

重点目標

- (1) 青少年のための地域との協働による地域体制づくり
- (2) 健全な家庭づくりの推進
- (3) 広報活動の充実強化

具体的実践事項

- (1) 「あいさつ・声かけ運動」を進める。
- (2) みんなで地域づくりをする。：地域づくり活動
- (3) 子どもたちに各種活動への参加を勧める。
- (4) 令和3年度 重点推進事業：「親が変われば、子どもも変わる」運動

令和3年度 青少年育成那珂市民会議 専門部会員名簿

- 会長 関 守
- 副会長 大和田 優 (民児協) 森島 栄子 (相談員) 渡邊 ひとみ (市P連) 滝本 京子 (市子連)

部会名 (内容)	組 織	◎部会長 ○副部会長	
<b>家庭部会</b> ○家庭教育の充実 「親が変われば子どもも変わる」那珂市推進大会 ○明るい家庭づくり 「家庭の日」図画作文発表会並びに表彰式	<b>まちづくり委員会</b> 小田内 末吉 野田 敏之 塩野 美枝 黒井 澤朝 井坂 朝香  <b>P T A</b> 住根 研 一 藤本 恵 輔 鈴木 教 彦 渡邊 ひとみ	<b>子ども会育成会</b> 滝本 京子 宮本 幸太 羽石 康弘 田中 千代美 <b>青少年相談員</b> ○森島 栄子 岩谷 聡美 成田 義一 瀬谷 一雄 <b>民生児童委員協議会</b> ◎大和田 優 高畑 淳子 大内 玲子	<b>那珂市スポーツ協会</b> 根本 傳次郎 <b>高齢者クラブ連合会</b> 中原 昌幸 <b>ガールスカウト</b> 小宅 昭子 <b>農業後継者クラブ</b> 後藤 大輔 <b>商 工 会</b> 小寺 康生 <b>保護司会</b> 笠井 裕美子
<b>育成部会</b> ○青少年健全育成活動 「青少年の主張」発表大会並びに表彰式典 善行青少年の表彰	<b>まちづくり委員会</b> 大森 憲一郎 立原 悦子 仲條 ゆう子 高畑 大一男 箕川 一男  <b>P T A</b> 平野 理和 松原 正一郎 佐々木 宗一 大川野 しのぶ	<b>子ども会育成会</b> 寺門 聡子 鈴木 朋子 川又 ひろ子 <b>青少年相談員</b> 小貫 秀夫 鯉淵 節夫 ○先崎 武孝 大森 一孝 <b>民生児童委員協議会</b> 萩谷 政治 平山 洋子 秋葉 泉	<b>社会教育委員の会議</b> ◎山野 圭三 <b>中央公民館運営審議会</b> 山野 圭三 <b>小・中学校長代表</b> 大高 伸一 <b>スポーツ少年団</b> 渡辺 弘恵 <b>ライオンズクラブ</b> 小野瀬 翔 <b>文化財愛護協会</b> 萩野谷 悟
<b>広報部会</b> ○広報誌の発行 ・資料の収集 ・寄稿依頼 ・記事の作成 ・編集・校正	<b>まちづくり委員会</b> 成田 敏行 唐野 勝弘 海野 孝一 檜山 英夫 中井 眞澄  <b>P T A</b> 峯島 勝則 桑澤 直亨 綿引 裕之 佐藤 信理 片岡 洋治	<b>子ども会育成会</b> 萩谷 奈々 神原 和一 増山 康一 <b>青少年相談員</b> 入江 洋子 井上 礼子 ◎袴塚 二薫 大内 薫 <b>民生児童委員協議会</b> ○柳沼 健治 坪富 美子	<b>更生保護女性会</b> 綿引 けい子 <b>交通安全母の会</b> 篠原 恵子 <b>スポ少指導者協議会</b> 小宅 隆 <b>那珂を良くする会</b> 加藤 昌次 <b>寡母子婦福祉会</b> 矢吹 いつ子

構成団体紹介(那珂市校長会)

「根本正先生の生き方」を基盤に

ばら野学園那珂市立第一中学校長 大高 伸一  
 一中には、歴史、文化行事、伝統、環境、先人、そして一中学生としての姿など、他校に誇れるたくさん魅力があります。地域の方々との協力や見守りも含めて、これら全てを一中の財産(一中プライド)にとらえています。その中でも、一中を含めたばら野学園としては、那珂市の先人根本正先生の生き方を基盤として教育活動に取り組みました。

そこで、根本正顕彰会のご意見をいただきながら、大切にすべき生き方の観点を、「感性」「主体性」「忍耐強さ」「思いやり」「感謝」の5つにまとめました。明治時代の政治家根本正先生は、「小学校義務教育の無償化」「未成年の禁煙禁酒法の制定」などに尽力されました。それを実現したのは、将来を担う子どもたちの学習を保障し、健全な成長を願う愛情であったと思います。「人は教育の力により初めて人間になる。而して小学校教育は教育の初歩なり」と述べ、青少年健全育成の父とも呼ばれています。

ばら野学園全体で共有するために、仲田昭一先生(那珂市歴史民俗資料館)をお招きし、一中では全生徒対象、学園では全教職員を対象として講演いただきました。このことを通し、根本先生を学園の象徴として共有し、児童生徒がこの地で学ぶことに強く「プライド」をもてるものと期待しています。

これらの教育活動から、9年間を通じた連続的・系統的な学びを推進していきます。



# 「青少年の主張」発表大会(中止)

## 令和3年10月2日(土)於…ふれあいセンターごさい

令和3年10月2日(土)にふれあいセンターごさいで予定していました「青少年の主張」発表大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため残念ながら中止となりました。

この大会は、青少年が日常生活の中で感じたことや考えていることを広く社会に訴えることにより、将来に向かって自信と誇りを持つとともに、少年の健全育成に対する一般の理解と関心を高めることをねらいとして、毎年開催しています。

発表大会は中止になりましたが、今年度は、市内の各中学校から応募され発表予定だった主張文をCDにまとめて各中学校に配付します。紙面では、10名の主張文の題名とお名前を紹介します。

### 各中学校代表者

ヘアードネーションに参加して

ばら野学園 第一中 9年 篠原 朋世



性別の壁をこえて

ばら野学園 第一中 9年 鈴木 結南



普通の生き方

青遙学園 第二中 8年 大内 陽葵



私を作っていくもの

青遙学園 第二中 9年 小澤沙友里



地球に住み続けるために

緑桜学園 第三中 7年 長山 颯真



多様性が受け入れられる社会に

緑桜学園 第三中 8年 田中 美紀



### あいさつ

わかすぎ学園 第四中 7年 岩永 美桜



みんなちがってみんないい

わかすぎ学園 第四中 8年 関根 葵



実践した結果

白鳥学園 瓜連中 9年 西村 優希



誰かのために私ができること

白鳥学園 瓜連中 9年 松原 萌夏



### 講評

育成部会長 山野 圭二

令和3年度、青少年育成那珂市市民会議主催「青少年の主張」発表大会は、新型コロナ

ウイルス感染症に係る「茨城県非常事態宣言」の延長を受け中止にいたしました。事前に市内中学校5校から10人の発表原稿が生涯学習課に提出され、内容は、体験、思考、抱負などが、青年前期に基づいたものでした。本来なら全員の内容の講評をしなければならぬのですが、紙面の関係で特に印象的だった4人の講評のみにいたします。あしからず。

一、消極的な性格だった自分が、部活動での友達との交流や会話を通して、積極性が身に付いたという心の成長についての体験談

二、性についての意見は、雑誌やTV報道からの知識により理解、興味が一方的になりがちです。性については多様性が伴っているため、正確な情報や判断が大切です。事例としては、先の2020東京オリンピック大会の外国人選手の中に、女性から男性、男性から女性に変更した人がいました。外国と日本とは感情、判断などに歴史や文化の違いがあります。

三、新型コロナウイルスの影響で美容室に行けない時に、ヘアードネーションの制度を知り、病気で頭髪が抜けて困っている女性に対し、自分の頭髪を長くして寄付した事例

四、地球の温暖化の防止については、世界的な規模で協議をし、国ごとのCO<sub>2</sub>の排出量が決められています。CO<sub>2</sub>の排出量が多い国はアメリカ、中国、日本などです。昨今の温暖化の影響は、北極の水が溶けたり、エベレスト山系の氷河が一年で10cm位溶けたりしているとの事実が、研究者より報告されています。

以上の発表内容ですが、4点とも観点、内容が非常に優れており立派です。これからの成長が期待されます。

### 「第17回 親子の集い」

令和3年6月5日(土)  
水戸市少年自然の家(水戸市全隈町)

「家庭の日」(毎月第3日曜日)の普及と子ども会活動の充実を図るため、毎年市内小学校の親子を対象に一泊二日の研修会を実施していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、日帰りで実施しました。

今年度は、41人(幼児1人、小学生22人、保護者18人)が参加し、親子や友だち、他の小学校の参加者たちと協力しながら、様々な活動に主体的に取り組み、充実した一日を過ごすことができました。また、この研修を通して子ども同士の親睦と青少年リーダーの育成を図ることができました。

#### 《参加した児童の感想》

○館内ウォークラリーでもんだいがむずかしかったけどがんばりました。そして、全部めっちゃたのしかったです。学校で友達にじまんしたいです。

○那珂市の色々な人たちに会って、いろいろなコミュニケーションがとれた。また、協力したりいろいろな発見ができて楽しかった。

○最初のなぞなぞをいちばん正かいてできてよかった。うれしかった。



そう作では最後までやるのが楽しかった。やったことがなかったからより楽しかった。来年はとまれるといいと思う。

○いろいろな人がいて、チームには男の子しかいなかったけど、館内ウォークラリーでみんなできようりよくしてできた。男の子ともなかくよくなれてとても楽しかったです。○そう作活動がんばった。のりがかくのがむずかしかった。ウォークラリーで足がすごいきん肉つうになった。また友だちと来たい。○活動ぜんぶたのしかった。ごはんがすごくおいしかった。

○ウォークラリーの活動で、みんなと協力したり、時間をちようせつしたりしてゴールできてよかったです。けれど、1位になれなくてくやしかったけど、他の人と仲良くできてよかったです。

#### 《参加した保護者の感想》

○コロナ禍で外出も控える日々の中、子どもたちもたくさんの友達と交流ができ、とても良い体験となったと思います。

○はじめて参加させて頂きました。短い時間の中、様々な活動をさせて頂き充実した時間を過ごすことができました。朝から最後までたくさんの職員の方々が関わって下さり大変ありがたいです。準備、企画運営大変だと思いました。一日お世話になりました。ありがとうございます。

○一日中、子どもたちといろいろな事をして過ごせて、とても楽しかったです。他の地域の方たちとお話できたのも、貴重な体験となりました。どうもありがとうございました。

○初めて参加して、思っていた以上に楽しくすごせました。親子ではもちろん、他学区の子どもたちや親子さんと一緒に話したり、笑ったりとても楽しかったです。ありがとうございました。

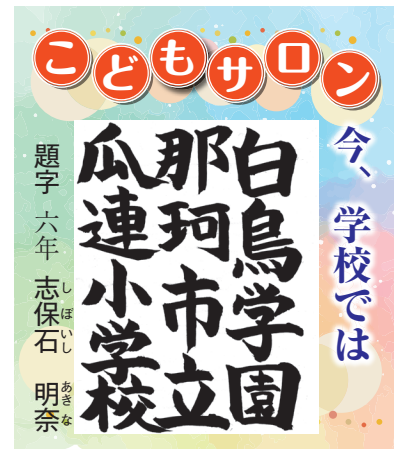
○最初こそ不安でいっぱいの子どもでしたが、時間がすすむにつれて楽しそうに積極的な姿が見られたので、とても良かった。職員の皆様のフォローが手厚く、雰囲気も良かった。

○メニューが工夫されていて、とて



も楽しい時間を過ごすことができました。他の地域の方々と交流できたのも良かったです。関係者の皆様ありがとうございました。

○雨天時の活動内容になり、外での活動がなくなり残念でしたが、それでも十分充実した時間が過ごせました。親子でのコミュニケーションが図れたのはもちろん、同じ市内の親子の方々と知り合ういい機会でした。スタッフの方々お世話になりました。



「生きる」という意味

六年 高田 隆成

日本にはたくさん漢字がある。ぼくは漢字に興味を持っていて、意味を調べることが好きだ。近年、インターネット上でひぼう中傷の書きこみが増え、自ら命を絶つ人があつた。また、コロナウイルスに感染しただけで犯罪者のようなあつかいをされたり、ニュースでは毎日新型コロナウイルスによる死亡者が発表されている。

そこでぼくは、「生」と「死」二つの漢字について調べてみることにした。「生」という漢字は読み方が多く十二通りもある。しかし、「死」という漢字は読み方が一つしかない。このことから、生きていけばたくさん道が開け、生き方はそれぞれ何通りもあると気付いた。死んでしまったら道を前に進むことも後ろにもどることもできない。つまり、自殺をしてしまうということは、自分で十二個の「生」を失うことになる。ぼくはこのことに気付いたので、「命」を大切に一つ一つの道を着実に歩いていきたいと思う。

人生初の茶道体験

六年 小沼 みなみ

私は、六月十六日に、初めての茶道体験をしました。茶道体験では、ただお茶を点てるだけでなく、座り方やお茶のいただき方など、礼儀作法についていろいろを教えてもらいました。どの先生も、優しく丁寧に教えてくれて、とても楽しくお茶を点てることができました。私が特に心に残ったのは、自分で点てたお茶を飲むことです。飲む前は、「どんな味がするのか？」や「苦かったらどうしよう。」など、少し不安な気持ちでいっぱいでした。でも、飲んでみると、少し苦かったけど、とてもおいしくて、もっと飲みたいと思いました。お茶といっしょに食べた跳ねあゆという和菓子もおいしかったです。また、茶道体験をできるととてもうれいす。これからも、日本の伝統文化をたくさん学び、家族や友達、先生に伝えたいと思います。そして、日本について自分の知識を深めていきたいと思います。



まちづくり委員会



戸多地区まちづくり委員会は、旧戸多小学校の一部を改修した、戸多地区交流センター内にあります。

私が子どもの頃、この地には戸多中学校があり、芳野中学校と統合し那珂第三中学校になりました。その跡地に戸多小学校が新築移転したのです。さらに、児童減少に伴い芳野小学校に統合となってしまいました。

当初は、建物をすべて取り壊して更地にする案も出たようですが、校舎に耐震工事を施して、地区交流センターと教育支援センターが入っています。

まちづくり委員会では、例年11月に「戸多まつり」を開催しておりますが、コロナ禍のため2年連続で中止となりました。「戸多まつり」には、地区内の七つの自治会がけんちんうどんをはじめ、綿菓子、ポップコーンなどの食べ物、そして飲み物を提供し、推計700人の人々が来場しています。来年は是非開催したいと考えています。また、来年4月には那珂西大橋下流域に「かわまちづくり」と呼ばれている事業で、河川敷を利用した多目的広場が供用開始となります。同公園は主

に、サッカー場として利用する設計になっており、ここで練習したサッカー好きな子どもたちが、将来リーグや、海外のリーグで活躍し、オリンピックで金メダルを取るような選手が出てくるのも夢ではないでしょう。



戸多地区かわまちづくり支援制度での芝張作業

編集後記

オリンピックを観ていた妻が、いつの間にかチャンネルを握りしめたまま、ソファで寝息をたてている。そして、チャンネルを取り返し、スイッチを切った。その瞬間「観てたのに！」

「えー」平和だね

好転の兆しが見えないコロナ禍で、閉塞感に陥りがちの日常、少し躰を動かそうと堤防を散歩した。

川風が気持ちよく、心も爽やかだ。小学校の脇道を歩いていると、昼休み時間だったのか、子どもたちの声が校庭から聞こえた。

なんか元気がなく寂しそうに感じた。子どもたちの元気な明るい声が響く、校庭が見られるのはいつの日か、心より祈念してやまない。

広報部会長 袴塚 耕二